

序 章

1. 体験から 10
2. 本書の視点 ― 事例に学ぶ意味 11

I 章 さまざまな子どもの死

① 子どもと死 …………… 16

- (1) 忘れられている死 16
- (2) 教育の中の死 16
- (3) 子どもたちの中の死 17

② 小学生と死 …………… 18

事例①：A 中学2年生女子 ― 小学校時の溺水の体験 18

③ 中学生と死 …………… 19

事例②：B 中学2年生男子 ― 赤いジャケット 19

④ 高校生と死 …………… 21

事例③：C 高校2年生女子 ― 死の約束 21

事例④：E 高校1年生男子 ― 死への偶然 22

⑤ 子どもが死を学ぶ …………… 26

- (1) アメリカでは 26
- (2) 一つの提案 27
- (3) むすび 29

II 章 子どもの自殺

① 小学生のばあい …………… 34

- (1) 小学生の「死」の観念 34
- (2) 小学生の自殺の特徴 36

2 中学生のばあい …………… 39

(1) 「友の騒ぎに慰もる…」ということ 40

(2) 思春期は危機? 41

事例⑤: F 中学3年生女子 ― 死の想いにとりつかれて 42

事例⑥: G 中学2年生男子 ― 鉄塔の上から 46

3 高校生のばあい …………… 50

事例⑦: H 高校2年生女子 ― 助けられなかつたらうか 50

4 高校生の自殺観 …………… 62

5 自殺率増加の背景 …………… 64

Ⅲ章 多様な思春期事例

1 足摺に消える ― 体験自殺 …………… 70

事例⑧: I 高校3年生男子 ― 長い死への思い 70

2 アクティング・アウト (行動化) …………… 75

事例⑨: J 高校2年生女子 ― 思春期的危機とリンクする 75

3 シンナーと自殺 …………… 81

事例⑩: K・L・M・N 中学3年生女子 ― 手をつなぎ「セーノ」
と川に飛び込み 81

4 女子グループの同調的自殺 …………… 84

事例⑪: O・P・Q 高校3年生女子 ― 死を演出する 84

Ⅳ章 自殺への道のり

1 自殺の神話 …………… 92

- ② 死のうと思う — 自殺念慮 …………… 94
- ③ 死をほのめかす …………… 96
- ④ 死に揺れる — 自殺を決意する …………… 99
- ⑤ いつもと違う行動 …………… 103
- ⑥ 思い止まる …………… 103
- ⑦ 保健室で …………… 105

V章 自殺未遂を考える

- ① 自殺未遂とは — 自殺未遂もまた多様 …………… 112

- ② ひたすらに死を求めて …………… 114

事例⑫：R 中学3年生男子 — 醜い男と思いなして 114

- ③ 自殺未遂と学校復帰 …………… 117

事例⑬：S 高校2年生女子 — 弓をひく 117

- ④ リストカット（自傷行為）…………… 121

(1) 自傷行為 121 (2) 自傷行為と自殺企図 121

(3) リストカットは増えている 122

(4) リストカットの動機 123 (5) リストカットする生徒の特徴 123

(6) 自傷行為は伝染するか 125 (7) 保健室の対応 126

(8) 自傷行為と電話相談 128 (9) 文化の中の自傷 129

事例⑭：T 高校2年生女子 — 解離症状 130

事例⑮：U 高校3年生女子 — 頻回化と過量服薬 131

事例⑯：V 高校1年生女子 — 熱狂から沈静へ 133

VI章 「いじめ自殺」を検討する

1 子どもの世界といじめ …………… 136

- (1) 南ドイツの田舎町で 136 (2) シンクレール体験を分析する 139

2 学校の中のいじめ …………… 141

- (1) いじめということば 141 (2) 「子供至上論」 142
(3) 学校文化の中のいじめ 144

3 学校と自殺 …………… 146

4 「いじめ自殺」 …………… 149

5 O君事例と波紋 …………… 153

1. 事件の経過 153

- (1) 自殺に至るまで（小学校～1994年11月27日） 153
(2) その後の展開（1994年11月28日～） 158

2. 学校の状況 163

- (1) 学校の立地 163 (2) 学校の雰囲気 164
(3) O君の交友関係 164

3. 自殺への過程 165

- (1) 一般的な自殺への過程 165 (2) 中学生の自殺の特徴 166
(3) O君の遺書 166 (4) 事例へのコメント 168
(5) 家族の問題 169

4. 学校の対応 169

- (1) 学校の危機的状況 169 (2) 端緒から收拾まで 170
(3) 自殺報道の波紋 171 (4) いじめ問題と法 172

Ⅶ章 自殺の周辺

① 群発自殺 …………… 178

- (1) 自殺の連鎖 178
- (2) 群発自殺 181
- (3) 群発自殺の典型例 181

② 自殺の報道 …………… 182

- 1. 新聞報道 182
- 2. 自殺報道の影響 183
- 3. 報道する側の事情 184
 - (1) 報道すべきかどうか 185
 - (2) 報道姿勢 186
 - (3) 報道の責任 186
 - (4) 報道と人権 187
 - (5) 報道と自己規制 188

③ 自殺の予防 …………… 190

- (1) 学校と自殺予防 190
- (2) ストレス源としての学校 190
- (3) 万能感修正の場としての学校 191
- (4) 問題発見の場としての学校 191
- (5) アメリカの自殺予防教育 191
- (6) わが国では 193

Ⅷ章 自殺を読む

① 叱られて — 「丹後物狂」 …………… 196

② 榎の天辺から — 「頸縊り上人」 …………… 198

③ 一本の竿 — 「身投げ救助業」 …………… 200

④ 苦沙弥先生 — 「吾輩は猫である」 …………… 201

- ⑤ フランス人、いじめを観る ― 「自死の日本史」 …………… 203
- ⑥ リストカッターの日記 ― 「卒業式まで死にません」 …………… 204
- ⑦ 自逝センター― 「自殺自由法」 …………… 208
- ⑧ 自殺の指南 ― 「完全自殺マニュアル」 …………… 210

Ⅸ章 自殺を描く

- ① ブリュゲル ― 「サウルの自殺」 …………… 214
- ② ホガース ― 「ジン横丁」 …………… 216
- ③ ミレイ ― 「オフエリア」 …………… 218
- ④ ピカソ ― 「招魂」 …………… 221
- ⑤ カーロ ― 「ドロシー・ヘイルの自殺」 …………… 224
- ⑥ ロダン ― 「カレーの市民」 …………… 226
- ⑦ 映画「ブリッジ (The Bridge)」 …………… 228

コラム

高校紛争と自殺 89

電話相談 100

Asyl (アジール) 110

明治の青年自殺論 148

「お前、死んじまえ！」 173

報道 189

あとがき 230